

令和5年度事業評価結果報告書
(令和4年度実施事業)

令和6年3月
かつらぎ町行財政対策協議会

目次

1.かつらぎ町行財政対策協議会	1
2.かつらぎ町行財政対策協議会委員名簿	1
3.事業評価の方法	2
4.事業評価会議の開催日時	2
5.評価の結果	3~6

1. かつらぎ町行財政対策協議会

かつらぎ町行財政対策協議会は、町長の附属機関として町長の諮問に応じ、行財政運営の改善対策に関する基本事項の審議、町の施策・事業等の評価検証を行うために設置されている。

本年度については、本町が実施している事業の中から、必要性・有効性・効率性や住民ニーズの変化に照らして検証が必要と思われる事業を選定し、そのあり方について外部の視点から評価・検証を行った。

2. かつらぎ町行財政対策協議会委員名簿

かつらぎ町行財政対策協議会は、下記のとおり構成されている。

【かつらぎ町行財政対策協議会委員】

任期：令和6年12月27日まで

(敬称略・順不同)

役職	氏名	
会長	櫻井 邦男	かつらぎ町自治区長会 会長
委員	阪田 恵央	かつらぎ町商工会 局長
委員	山本 幸則	かつらぎ町社会福祉協議会 事務局長
委員	表具 恵子	JMT大作戦実行委員会 代表
委員	木村 準浩	和歌山道の駅ドットコム 代表
委員	戸田 真寿	戸田農園 代表

3.事業評価の方法

担当課からの説明及び提出された資料に基づき、事業の個別評価として「必要性」「有効性」「効率性」を各視点から検証し、「大いにある」「概ねある」「あまりない」「ない」の4段階で評価を行い、今後の事業の方向性として「拡充」「現状維持」「一部改善」「縮小」「休止・廃止」の5段階で評価を行った。

事業の最終評価は、『評価判定（今後の方向性）』で、最も多かった評価を本協議会における評価と位置付け、『意見集約過程での主な提案・意見』を踏まえたうえで、『評価に関するコメント』を総括とし、協議会としての意見としている。

- ◎ 対象事業：令和4年度決算主要施策実施事業等
- ◎ 評価事業数：2事業及び1計画
(うち、地方創生推進交付金事業・過疎対策事業 各1事業)

< 評価手順 >

- ①所管部門による事業説明（5～15分）
- ②質疑応答・意見交換、評価シートへの記入（15～30分）
- ③協議会としての総合評価（30分）

4.事業評価会議の開催日時

日時	事業評価	場所
令和6年2月21日(水) 10:00～12:00	・かつらぎ熱中小学校推進事業 ・かつらぎ町過疎地域持続的発展計画 ・子ども医療費給付事業	かつらぎ町役場 2階 会議室D

【その他】

日時	内容	場所
令和6年3月18日(月) 11:00～	町長への答申	町長室

5.評価の結果

令和5年度は、令和4年度に実施した主要施策のうち町が選出した2事業及び1計画についての評価を実施したところであり、今後の方向性や達成状況についての評価は、「一部改善」「概ね計画どおり」「現状維持」となった。

町の財政状況がさらに厳しいものになっていくと予想される中、費用対効果についての検証と併せて、『PDCAサイクル』の強化を図り、事業の趣旨、住民ニーズに合致した事業となるよう努められたい。

また、この報告書を第5次かつらぎ町長期総合計画の推進に役立てていただくことを要望する。

【令和5年度かつらぎ町行財政対策協議会 事業評価結果一覧】

(令和4年度実施事業)

番号	事業名	委員数	今後の事業の方向性					評価判定
			拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止廃止	
1	かつらぎ熱中小学校推進事業	5	2	1	2			一部改善
3	子ども医療費給付事業	5	1	4				現状維持

※番号1の評価判定については、「拡充」及び「一部改善」が同数となっていますが「かつらぎ町行財政対策協議会規則第6条第2項」の規定に基づき、各委員からの意見を踏まえ、会長の決するところにより「一部改善」となりました。

番号	対象名	委員数	達成状況			評価判定
			計画以上に達成	概ね計画どおり	要改善	
2	かつらぎ町過疎地域持続的発展計画	5		5		概ね計画どおり

令和5年度 行財政対策協議会評価結果

1	かつらぎ熱中小学校推進事業	企画公室
---	---------------	------

●個別評価の判定

評価人数 5名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	3	2		
②有効性	2	1	2	
③効率性		4	1	

●評価判定(今後の方向性)

	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
一部改善	2名	1名	2名	名	名
評価に関するコメント	<p>新たなコミュニティを生み出していることは評価できます。様々な分野で活躍している有識者を交えたグローバルな知識習得は、新たな事業につながる可能性を感じることができます。今後は、補助金を支出している町としての思いも共有しながら、費用的、人力的に自立できるような運営を確立し、持続可能な体制での事業の継続を期待します。また、産業振興と生涯学習環境の充実を実現していくなかで、さらに幅広い年齢層の参加を促し、地域活性化の一翼を担い、参加者にとって自分たちの新しい価値を発見していく場としてもらいたい。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・かつらぎ町の色(特色)を持った産品開発につながる事業として、形を変えても今後も施策として取り組んで欲しい。 ・有識者を含めた交流は今後に役立つと考えます。 ・ローカルではなく、グローバルな知識習得は大きな力になると思います。 ・新たなコミュニティーを生む宝庫である。 ・町の思いが小学校の運営に反映できるとさらによい。 ・ターゲット層がどこにあるのか。できるだけ若者世帯が参加して新たな事業へ繋がる事業になればもっと活性化になるのではないと思う。 ・ボランティアを前面にだして活動し、授業料も徴収している割には思っている以上に経費がかかっているように思った。お金をかけなくても「まちづくり」や「繋がりづくり」を実施している団体があるので、もう少しかける金額を見直して欲しい。 ・いい事業だと思います。もっと若者も楽しく受講できるものにしたらよいと思う。 ・名刺のやり取り等沢山の方と情報交換が出来てすごく有意義なコミュニティだなと思いました。年が上の方が多かったのも、若い方は入りにくいと思いました。若い人が入りやすいコミュニティになれば若手の起業家が出てくるのかなと思いました。 				

令和5年度 行財政対策協議会評価結果

2	かつらぎ町過疎地域持続的発展計画	企画公室
---	------------------	------

●評価判定(計画の達成状況)

評価人数 5名

概ね計画 どおり	計画以上に達成 名	概ね計画どおり 5名	計画通りに進んでいないため改善が必要 名
<p>評価に関する コメント</p>	<p>成果関連指標(数値目標)については、令和7年度の目標に向けて、概ね計画通りに達成できていると思います。ふるさと住民登録者数などは既に、令和7年度の目標を達成しているので、新たな目標設定やふるさと住民制度を活用した事業の展開が期待されます。 全国的な状況から人口減少となることは否めないが、観光客入込客数や移住者数の増加を目指し、地域の活力の維持に努めてもらいたい。 また、自治会への加入については、高齢による脱退や若い世代における未加入世帯の増加などさまざまな課題はあるが、地域とともに行政としても対策を考えていてもらいたい。</p>		
<p>意見集約過程 での主な 提案・意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯に費用を大きく使用することは大切なこと。 ・全国的に人口減少は仕方ない現状。転入者は増加傾向という点においては嬉しいが、この現状を維持できるような対策も必要と思います。 ・ふるさと住民登録数は、目標を達成しているので、今後の目標についてはどのように取り組まれるのかと思います。 ・自治会加入率については、深刻だと思っています。町と自治会がもっと密に連携をとりながら実情を情報交換していく事案かもしれません。 ・農園さんとも連携してアグリツーリズム等といった町に来るきっかけ作りができれば良いと感じます。 		

令和5年度 行財政対策協議会評価結果

3	子ども医療費給付事業	健康推進課
---	------------	-------

●個別評価の判定

評価人数 5名

評価項目	大いにある	概ねある	あまりない	ない
①必要性	5			
②有効性	4	1		
③効率性	2	3		

●評価判定(今後の方向性)

	拡充	現状維持	一部改善	縮小	休止・廃止
現状維持	1名	4名	名	名	名
評価に関するコメント	<p>子どもの健全な育成と安心して子どもを産み育てることができる環境づくりにとっては、非常に大切な事業であると感じます。経済的理由により医療を受けることができないということが起こらないよう事業を継続するとともに、対象年齢の拡充などについて、他地域の状況も調査しながら検討し、さらに充実した事業としてもらいたい。</p> <p>しかしながら、一方では過剰な医療受診等の発生にもつながる可能性があるため、事業の推進とともに、住民への啓発や関係機関との連携により、制度の効率的な運用に努めてもらいたい。</p>				
意見集約過程での主な提案・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・給付事業は重要施策として続けて欲しいのですが、医師会などとの連携や啓蒙で無駄を少なくする方向で進めてもらいたい。 ・大学、専門学校等学生支援が過疎対策にもつながると思う。 ・効率性については、難しい課題と思います。予算額内に事業をおさめられる取り組みや、住民理解と関係機関との連携が大切だと感じました。 ・安心して子育て・育児できる事業だと思うので今後も続けていけるような事業として欲しいと願っています。 ・とてもよい取組であると思いますが、多くの薬を処方してくれると感ずることがあるので、過剰な医療行為とならないこととすることが大切と感じます。 				